


施工上の注意

ふりまき素材	
90頁	SW4226・4227 ・2巾を施工しジョイント部で色差が気になる場合、リバース施工で色差が緩和されることがあります。
	SW4228・4229 ・素材が厚く固いため、カッターの刃は常に鋭利な状態で使用してください。
	SW4230/4231 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。 ・低温時の施工直後は、ベースと柄部分の伸縮の違いでベース部分にふくれが生じる場合がありますが、完全に乾燥すれば元に戻ります。
91頁	SW4232・4233/4234/4235 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
	SW4236～4238 ・素材の特性上折りジワが付くと元には戻りません。糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きはしないでください。 ・定規が滑りやすいため、ずれないように押さえに注意してください。
92頁	SW4239～4241 ・素材の特性上、塗布角度に方向性があり、光線の影響で色差が生じることがあります。 ・オープンタイムは10分が目安です。長時間おくと相剝ぎや目スキの原因となります。 ・2巾を施工しジョイント部で色差が気になる場合、リバース施工で色差が緩和されることがあります。
93頁	SW4252～4255/4256・4257/4258・4259 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
94頁	SW4266～4268/4269～4271 ・2巾を施工しジョイント部で色差が気になる場合、リバース施工で色差が緩和されることがあります。
95頁	SW4274・4275 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
	SW4276・4277 ・撫で付け・ジョイント部は柔らかい刷毛、または指で押さえてください。 ・素材の特性上、折りジワやへこみの跡が付くと元には戻りません。
	SW4278～4282 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
96頁	SW4289～4292/4293～4295 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。
97頁	SW4300～4302 ・折りグセが付かないように両手で持つようにして、4つ折りは絶対にしないでください。施工時に折りグセ部分の塗膜が剥がれることがあります。
98頁	SW4303～4306 ・折りグセが付かないように両手で持つようにして、4つ折りは絶対にしないでください。施工時に折りグセ部分の塗膜が剥がれることがあります。
	SW4313～4317 ・糊を付けた順に施工してください。 ・糊が馴染むまでは固く感じます。冬期は室温を上げて施工してください。

織物	
標準施工	<p>■素材の特性上ジョイント部に色差や目曲がりが生じるにより柄が合わないことがあります。水が直接かかる場所への使用は避けてください。表面に汚れが付着すると、取り除けない場合があります。</p> <p>糊付け ・糊は濃いめに、塗布量は多めに相剝ぎを防いでください。 ・表面に糊が付着しないようご注意ください。 ・糊付け後は折りジワが付かないように大きなたたみ、重ね置きはしないでください。 ・オープンタイムは10分が目安です。長時間おくと相剝ぎや目スキの原因となります。</p> <p>張付け ・撫で付けは柔らかい刷毛を使用してください。金ペラや硬いローラーは使用しないでください。 ・出隅の撫で付けや入隅の押し込みは丁寧に行ってください。 ・鋭い薄刃のカッターを使用してください。 ・カッターの刃は15～20°の角度を保ってカットすると、繊維が毛羽立たず比較的きれいに仕上がります。 ・重ね切りする際は、長定規を使用してください。面でしっかり押さえることで壁紙の伸び・タルミが発生しにくくなり、乾燥した後の目スキ防止になります。 ・石膏ボード表面層を切り込まないよう下敷きテープを使用してください。切り込みは目スキの原因となります。 ・施工中、施工後とも、冷暖房などによる急激な乾燥は避けてください。目スキの原因となります。</p> <p>施工終了後・表面に糊が付着した場合はすぐにきれいな布で軽く拭き取ってください。</p>
	 <p>▲ 施工動画 基本施工方法は はこちらから</p>